

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 講演「こくごのじかん」

団体名 能田徳若万歳保存会

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	西春駅や市の掲示板、回覧板や広報などおおよけの広告だけでなく、北名古屋中央タイムズ様やトッピー様、各商店様のお力を借り宣伝し、無料で市民をむかえた。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	○	これまで市の人間であってもあまり知らなかった万歳をおおいに知らせ、北名古屋市民の文化を市の内外に広告できた。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	市内の楽団である北名古屋吹奏楽団様、北名古屋中央タイムズ様、江口珈琲店様など多くの方に参加協力いただきました。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	広報の面で予想を上回る支援を賜りました。反面、市の施設利用料で思わぬ出費がありました。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	○	少数精鋭・適材適所で臨めました。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	市内の全く異なる団体がコラボレーションし、一つのイベントを盛り上げたのは、新しい雛型になれたのではないかと。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	有り難いことに、こころよく協力していただきました。感謝しております。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	行政とやるより責任の所在が明確で自由に動け、行政の名前のおかげで信用が役立った。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	○	今回のイベント成功をきっかけに、他の万歳団体と協力関係の機会を得た。また、教育機関との間も狭くなったように思う。
	・自己資金の確保に努めていますか	△	メンバーの出資金が多いので、パンフレットの販売などを行いたいですが、様々な壁を感じている。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	紙質やイラスト規模など、広告面では限界まで費用を削った。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	△	新規保存会員の獲得はならず。目的を達したとは言えない。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない